

授業基本情報

科目名	放射線モニタリング実習
実施形態	対面
担当教員	後藤淳、狩野直樹
科目区分	放射線防護科目群
科目番号	A07
総時間数	3時間
コンテンツ数	3
履修条件	3時間の実習をすべて受講する事。実施日は未定であるが、土日など社会人が受講しやすい日に実施する予定である。 原子力・放射線防護学特論及び放射線計測学特論で修得する知識があることが望ましい

授業概要情報

更新日	2023/7/31
概要	万が一の原子力災害が発生した際、自身と周囲の人々の命と健康を守るために即座に適切な行動を取るためには、原子力や放射線の基礎的知識、放射線規制、放射線モニタリング、災害医療、自然災害などの知識と技術をあらかじめ習得しておく必要がある。本科目では、NaIシンチレーションサーベイメータを使用した実習により、放射線モニタリング方法について学ぶ。
科目のねらい	放射線モニタリングに関する基礎的事項を理解する。
学習の到達目標	原子力災害が発生した際に、NaIシンチレーションサーベイメータを使用して放射線量率を測定することが出来る。
参考文献	
評価の方法	レポートにより評価する。

授業計画詳細情報

内容	授業時間外の学修
1 ガイダンス及びNaIシンチレーションサーベイメータの使い方と空間線量率測定(1h)	1 実習に先立ち、空間線量率及びNaIシンチレーションサーベイメータについて事前学習しておくこと。事後学習については実習時の指示する内容を含め、学んだ内容を復習しておくこと。
2 外部被ばく防護の3原則（時間、距離、遮へい）に関する実習（2h）	2 同上